



学校だより

横浜市立朝比奈小学校

令和5年6月29日

第4号



「いつでも どこでも だれにでも」あいさつができる子どもに 校長 大野 幸二

水泳学習を楽しむ子ども達の元気な声に、夏の到来を感じる今日この頃ですが、皆様におかれましては、益々ご清祥のことと存じ上げます。先月末の運動会では、皆様のご協力と子ども達や教職員のがんばりにより、無事終了することができました。改めて感謝を申し上げます。

○あいさつが大事だと思える、その心が大事

各クラスや児童会の話し合いにより、今年度の朝比奈小における学校スローガン（合言葉）が決まりました。

【あ】いさつを心がけ 【さ】さえあい 【ひ】ろい心で 【な】かまを大切に

また、児童会が中心となり正門付近で「あいさつ運動」を行うこと、明るく元気にあいさつをしていた人には「あいさつ名人」として表彰状がもらえることなどが発表されました。

これを機に各学級が輪番で「あいさつ運動」を継続できることを期待しています。



○あいさつ（～相察～）とは「相手を察するきもち」

あいさつには、朝、昼、晩に出会った際の掛け声だけではなく、「ごめんなさい。」と謝ったり、「ありがとう」と感謝したり、TPO（時・場所・状況）に応じた様々なあいさつがあります。

すべてに共通して必要なことは、相手意識やコミュニケーション能力です。それゆえ、あいさつは形ではなく気もちが大事なのです。

朝比奈小学校では、「いつでも、どこでも、だれにでも」あいさつができる子どもを目指し、人と人をつなげる言葉の実践に取り組んでいます。

○「キッズパトロール隊・PTA」によるあいさつ運動の推進

朝比奈小学校の学区域では、地域の有志で構成されているキッズパトロール隊の皆様が、子ども達の登下校時に通学路で明るく元気に声をかけてくださいます。また、交通量の多い危険個所では、PTAの皆様と連携し、安全を見守ってくださいます。長年に渡り、あいさつ運動を広げると同時に子ども達の安全を見守ってくださっている皆様に心より感謝を申し上げます。

○あいさつは、自分を変える

「意識が変われば行動が変わり、習慣も変わる。習慣が変われば人格が変わり、やがて運命が変わる。」

アメリカのメジャーリーグで「二刀流」として大活躍している大谷翔平選手は、野球の成績だけでなく人間性も世界から評価されています。彼が高校生の時に書いた有名な「大谷ノート」には、野球の目標だけでなく、「あいさつをする」「ごみを拾う」「人に優しく」など、人間的成長を促す目標が書かれています。

あいさつには自分を変える力があります。自分が変われば周りの世界も開けてきます。なぜなら、人とのかかわり方が変わるからです。朝比奈小の子ども達が、今以上にあいさつの大切さを感じとり、周りの人たちとより良い関係を築けるよう、地域や保護者の皆様と共に、引き続き支援にあたってまいります。